

1 総括事項

(1) 県内の状況

三重県の平成 26 年度末の市町数は 14 市 15 町、一部事務組合は 12 事務組合です。

平成 26 年 10 月 1 日現在の行政区域内人口は、1,827,595 人、世帯数 721,344 世帯であり、平成 25 年度より人口は 5,461 人の減少、世帯数で 5,220 世帯の増加となりました。

なお、県内全域が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第 6 条に基づく計画処理区域となっています。

区 分	県 計	市 計	町 計
面 積 (k m ²)	5,774.39	4,031.89	1,742.49
世帯数 (世帯)	721,344	634,859	86,485
人 口 (人)	1,827,595	1,597,535	230,060

(2) 一般廃棄物処理事業経費

1) 歳入及び歳出

廃棄物処理事業経費歳入の内訳は、一般財源が 29,917,441 千円 (68.8%)、特定財源が 13,536,828 千円 (31.2%)、合計が 43,454,269 千円で平成 25 年度より 0.6%の減少となっています。

なお、割合としては、ごみ処理にかかる歳入が全体歳入額の 85.5%を占めています。

一方、廃棄物処理事業経費歳出の内訳は、建設・改良費が 10,405,863 千円 (24.0%)、処理及び維持管理費が 29,758,444 千円 (68.7%)、その他 3,177,485 千円 (7.3%) となっています。

建設・改良費の内訳は、ごみ処理施設の建設に係る経費は 9,588,237 千円、し尿処理施設の建設に係る経費は 817,626 千円となっており、建設・改良費全体は平成 25 年度と比較して 15.9%減少しています。また、処理及び維持管理費の内訳は、ごみ処理施設に係る経費は 25,077,494 千円、し尿処理施設に係る経費は 4,680,950 千円となっており、処理及び維持管理費全体は平成 25 年度から 4.7%増加しています。

注 1：比率は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため合計が 100%にならないこともある。

【歳入内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計
特 定 財 源	国 庫 支 出 金	4,124,511	368,032	4,492,543
	都 道 府 県 支 出 金	12,684	27,172	39,856
	地 方 債	4,055,500	49,694	4,105,194
	使用料及び手数料	3,037,776	313,586	3,351,362
	そ の 他	1,476,026	71,847	1,547,873
	小 計	12,706,497	830,331	13,536,828
一 般 財 源		24,439,047	5,478,394	29,917,441
合 計		37,145,544	6,308,725	43,454,269

注1：2重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

【歳出内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計		
建 設 ・ 改 良 費	工 事 費	収集運搬施設	7,560	0	7,560	
		中間処理施設	7,962,480	750,336	8,712,816	
		最終処分場	1,457,130	0	1,457,130	
		そ の 他	135,994	67,290	203,284	
	調 査 費	25,073	0	25,073		
	小 計	9,588,237	817,626	10,405,863		
処 理 及 び 維 持 管 理 費	人 件 費	一 般 職	1,925,915	491,520	2,417,435	
		技 能 職	収集運搬費	2,430,130	115,670	2,545,800
			中間処理費	1,224,733	50,743	1,275,476
			最終処分費	218,323	38,375	256,698
	処 理 費	収集運搬費	585,047	26,380	611,427	
		中間処理費	5,612,154	1,872,909	7,485,063	
		最終処分費	402,636	81,941	484,577	
	車両等購入費	145,834	5,940	151,774		
	委 託 費	収集運搬費	5,317,746	386,084	5,703,830	
		中間処理費	5,765,093	1,500,245	7,265,338	
		最終処分費	1,047,891	26,855	1,074,746	
		そ の 他	381,459	79,324	460,783	
	調 査 研 究 費	20,533	4,964	25,497		
小 計	25,077,494	4,680,950	29,758,444			
そ の 他	2,479,813	697,672	3,177,485			
合 計	37,145,544	6,196,248	43,341,792			

注1：2重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

(3) 廃棄物処理施設

1) ごみ処理施設

ごみ処理施設は、10市5町6事務組合に23施設設置され、
処理能力は2,531 t / 日です。

施設種別	焼却処理施設			ごみ燃料化 施設	合計
	全連続	准連続	バッチ		
施設数	10	0	7	6	23
処理能力 (t / 日)	1,865	0	193	473	2,531

※ 平成26年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

2) 粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設は、6市1町4事務組合に12施設設置され、
処理能力は433.2 t / 日です。

施設種別	破碎施設	圧縮施設	併用施設	計
施設数	10	0	2	12
処理能力 (t / 日)	409.2	0	24	433.2

※ 平成26年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

3) 資源化等を行う施設

資源化等を行う施設は、8市6町6事務組合に52施設設置され、
処理能力は1,033.5 t / 日です。

施設種別	選別	圧縮・梱包	ごみ堆肥化	その他	計
施設数	22	19	6	5	52
処理能力 (t / 日)	343.7	329.7	8.8	351.3	1,033.5

※ 平成26年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は重複する施設を全て含む。

4) 埋立処分地施設

埋立処分地施設は、12市7町3事務組合に36施設設置されており、年間埋立量は66,592 m³、全体容量7,467,219m³、残余容量1,419,455m³です。

施設種別	山間	平地	計
施設数	31	5	36
全体容量 (m ³)	7,066,084	401,135	7,467,219
年間埋立量 (m ³)	65,498	1,094	66,592
残余容量 (m ³)	1,358,670	60,785	1,419,455

※ 平成26年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 埋立終了施設は含む。

5) し尿処理施設

し尿処理施設は、6市1町7事務組合に24施設設置されており、処理能力は3,195kℓ /日です。

施設種別	嫌気性	好気性	標準脱窒素	高負荷脱窒素	膜分離	下水投入	計
施設数	0	1	5	9	8	1	24
処理能力 (kℓ /日)	0	20	733	1,367	775	300	3,195

※ 平成26年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は重複する施設を全て含む。

(4) 一般廃棄物処理事業従事職員（自治体）

平成 26 年度末における一般廃棄物処理事業従事職員は、ごみ処理で 867 人、し尿処理で 99 人が従事しており、ごみ処理従事者が 89.8%を占めており、ごみ処理従事者のうち、収集運搬職員が 43.5%を占めています。

（単位：人）

	一般職		技能職				合計
	事務系	技術系	収集運搬	中間処理	最終処分	その他	
ごみ処理	212	46	377	171	49	12	867
し尿処理	50	11	24	8	5	1	99
合計	262	57	401	179	54	13	966

(5) 一般廃棄物処理業者関係

一般廃棄物処理の委託・許可件数は、ごみ処理の委託業として 165 件、許可業として 1,217 件あり、うち、収集運搬に伴う件数が 92.8%を占めています。

し尿処理の委託・許可件数は、委託業として 18 件、許可業として 120 件あり、ごみ処理と同様、収集運搬が大部分で 95.7%を占めています。

また、業者数としては、合計 662 業者、6,010 人の従業員が従事しています。

（単位：件）

	収集運搬		中間処理		最終処分		合計	
	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業
ごみ処理	118	1,165	37	50	10	2	165	1,217
し尿処理	13	119	3	1	2	0	18	120
合計	131	1,284	40	51	12	2	183	1,337

	ごみ（し尿兼業を含む）	し尿（ごみ兼業を含む）	業者数の実数の計
業者数（件）	578	115	662

	収集運搬 （他処理を含む）	中間処理 （他処理を含む）	最終処分 （他処理を含む）	従業員数の 実数の計
従業員数（人）	6,059	625	324	6,010

(6) 収集運搬機材

市町・一部事務組合、委託業者及び許可業者の所有するごみの収集運搬機材の合計台数は、5,651台、積載量は16,292tです。

また、し尿の収集運搬機材の合計台数は、684台、積載量は2,693kℓです。

	ごみ収集運搬機材(積載量:t)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	
		収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理		
台数	331	21	23	0	627	4	43	9	3,757	825	5	6	
積載量	795	43	123	0	1,543	12	421	126	11,010	2,187	11	21	16,292

	し尿収集運搬機材(積載量:kℓ)												
	直営分				委託業者分				許可業者分				合計
	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	
	バキューム車	その他			バキューム車	その他			バキューム車	その他			
台数	11	0	8	0	77	17	16	2	503	26	22	2	
積載量	20	0	58	0	325	64	116	52	1,717	127	169	45	2,693

(7) 収集形態

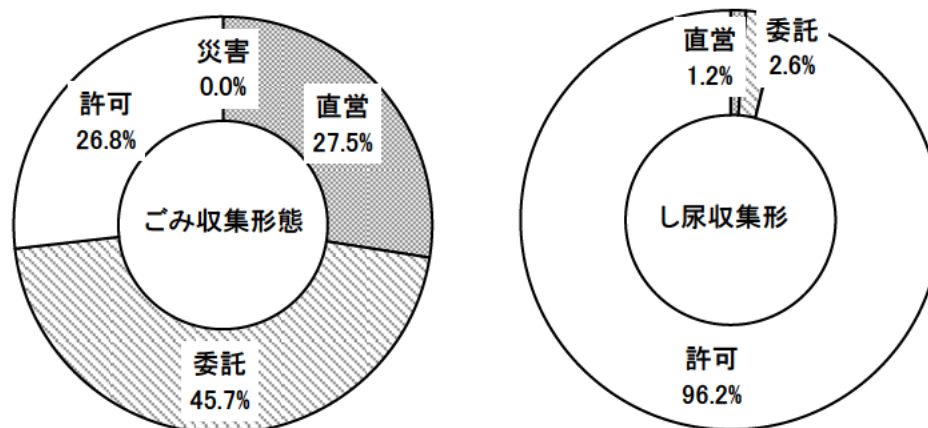
ごみの収集量は 571,059 t / 年 (平成 25 年度比 : 0.4% 増加)、し尿 (浄化槽汚泥を含む。) の収集量は 634,152 kℓ / 年 (平成 25 年度比 : 0.8% 減少) です。

形態別のごみの収集量は、直営が 156,982 t / 年 (平成 25 年度比 : 2.5% 減少)、委託が 260,887 t / 年 (平成 25 年度比 : 1.8% 増加)、許可業者によるものが 153,190 t / 年 (平成 25 年度比 : 1.3% 増加) です。

形態別のし尿の収集量は、直営が 7,332 kℓ / 年 (平成 25 年度比 : 3.5% 減少)、委託が 16,300 kℓ / 年 (平成 25 年度比 : 10.1% 減少)、許可業者によるものが 610,520 kℓ / 年 (平成 25 年度比 : 0.4% 減少) です。

区 分		収 集 量 ごみ : (t/年) し尿 : (kℓ / 年)	構 成 (%)	前年度比 (%)	
ご み	市町・組合によるもの	直 営	156,982	27.5	-2.5
		委 託	260,887	45.7	1.8
		小 計	417,869	73.2	0.1
	許可業者によるもの		153,190	26.8	1.3
	計		571,059	100.0	0.4
	災害廃棄物		0	0	-100.0
合 計		571,059	100.0	0.4	
し 尿	市町・組合によるもの	直 営	7,332	1.2	-3.5
		委 託	16,300	2.6	-10.1
		小 計	23,632	3.7	-8.2
	許可業者によるもの		610,520	96.2	-0.4
	合 計		634,152	100.0	-0.8

※ 構成比は、四捨五入により計と合わない場合があります。



(8) 処理形態

平成 26 年度におけるごみの処理量は、628,186 t / 年（平成 25 年度比：1.0%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む）の処理量は 634,152kℓ / 年（平成 25 年度比：0.8%減少）です。

ごみの形態別処理量としては、直接焼却処理量は 421,237 t / 年（平成 25 年度比：2.0%減少）、粗大ごみ処理量は 20,954 t / 年（平成 25 年度比：0.7%減少）、堆肥化処理量は 1,391 t / 年（平成 25 年度比：3.3%減少）、燃料化処理量は 86,334 t / 年（平成 25 年度比：2.2%減少）、その他資源化等処理量は 42,240 t / 年（平成 25 年度比：1.5%増加）、その他処理量は 517 t / 年（平成 25 年度比：6.2%減少）、直接資源化量は 35,755 t / 年（平成 25 年度比：12.4%減少）、直接埋立量は 19,429 t / 年（平成 25 年度比：28.7%減少）です。また、自家処理量は 329 t / 年（平成 25 年度比：12.5%減少）です。

し尿の形態別処理量として、し尿処理施設での処理量は 624,576kℓ / 年（平成 25 年度比：0.7%減少）、下水道投入量 9,413kℓ / 年（平成 25 年度比：1.5%減少）、その他処理は 163kℓ / 年（平成 25 年度比：増減なし）です。

区 分		収集量 ごみ：(t/年) し尿：(kl/年)	構 成 (%)	前年度比 (%)	
ご み	処理施設による 処 理 量	直接焼却	421,237	67.1	2.0
		粗大ごみ処理	20,954	3.3	-0.7
		堆肥化	1,391	0.2	-3.3
		飼料化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		燃料化	86,334	13.7	-2.2
		その他資源化等	42,240	6.7	1.5
		そ の 他	517	0.1	-6.2
		直接資源化	35,755	5.7	-12.4
		直接埋立	19,429	3.1	-28.7
		小 計	627,857	99.9	-1.0
	自 家 処 理		329	0.1	-12.5
計		628,186	100.0	-1.0	
し 尿	処理施設による 処 理 量	し尿処理	624,576	98.5	-0.7
		ごみ堆肥化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		下水道投入	9,413	1.5	-1.5
		農地還元	0	0.0	前年度実績なし
		そ の 他	163	0.0	0
		小 計	634,152	100.0	-0.8
	自 家 処 理		0	0.0	0
計		634,152	100.0	-0.8	

2 ごみ処理

(1) ごみ処理

ごみ処理の計画処理区域は県内全域となっており、計画収集区域内人口のうち計画収集人口は1,827,595人です。

ごみ総排出量は、650,901 t / 年で前年度比 1.3%減少しています。このうち処理施設で627,857 t / 年 (96.5%) 処理されており、残り 23,044 t / 年 (3.5%) が集団回収されています。

処理施設で処理されるもののうち、焼却施設等で処理、再資源化される量(埋立以外)は608,428 t / 年で全体の96.9%を占めています。

一方、直接埋立量は19,429 t / 年で前年度比28.7%の減少、集団回収量は23,044 t / 年で前年度比9.4%の減少です。

自家処理量は、329 t / 年であり、農地還元等に自家処理されています。

また、資源化率は29.7%となり、昨年度と比べ0.7%減少しました。

ごみの排出量の推移をみると、総排出量及び一人一日あたりの排出量ともに、ここ数年間とほぼ同水準となっています。今後もより一層、ごみの再資源化と併せ、住民と一体となった減量化に向けた取組を推進していく必要があります。

市町別に一人一日あたりのごみの排出量を比べると、各市町間の格差は大きい状態が続いています。

ごみの発生量についても地域格差が見られることから、管内の状況を十分把握し、将来にわたり安定した適正な処理ができるよう、地域特性に十分配慮した一般廃棄物処理計画の策定や「ごみゼロ社会実現プラン」の推進について一層努めていくことが必要です。

ごみ処理全体の維持管理費等の経費は、25,077,494千円であり、1 t あたりの処理に要する経費は39,941円となり、平成25年度と比較して2,208円 / t 高くなりました。

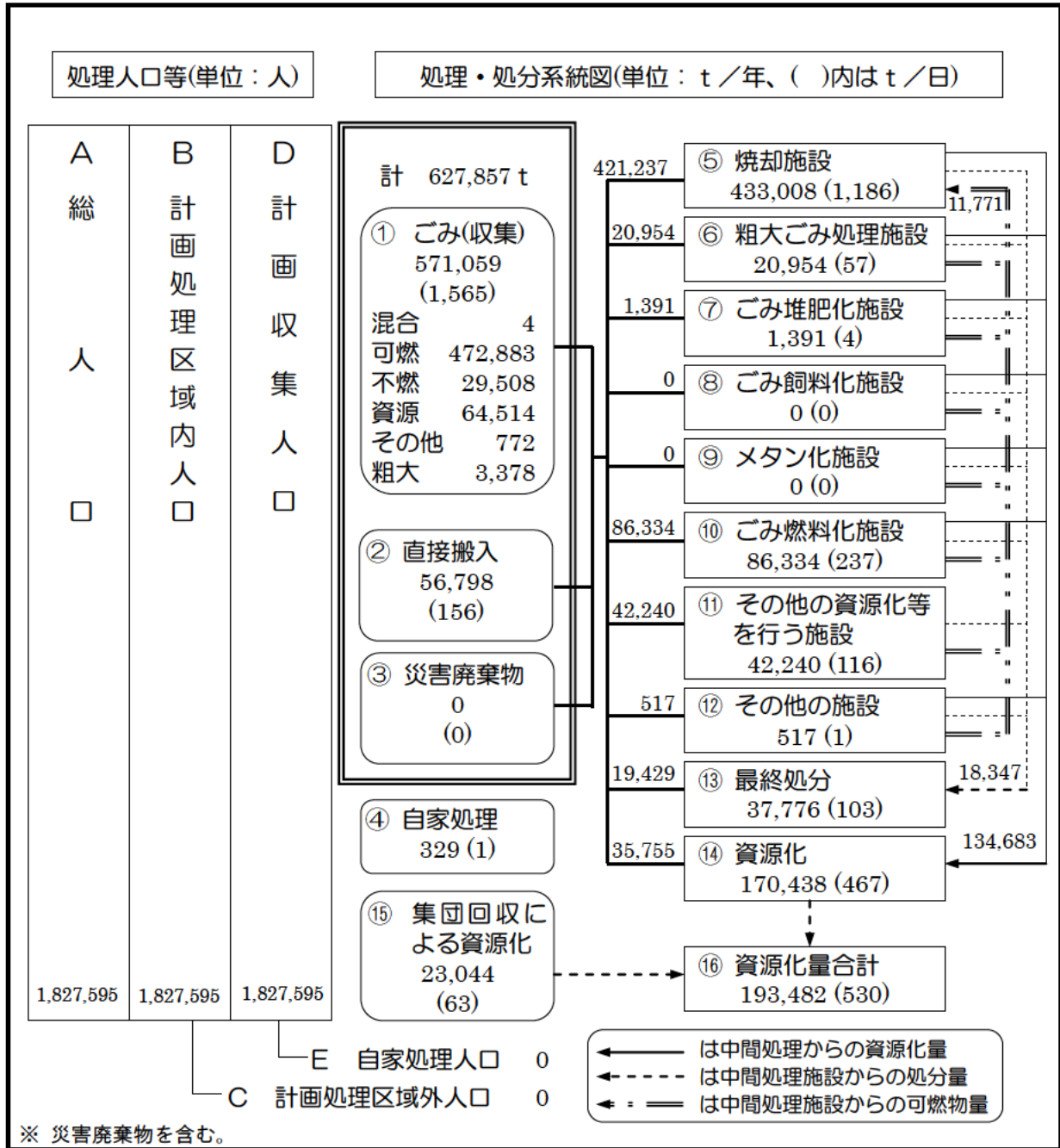
(2) ごみ処理の状況

項目		数値	単位	
計画収集人口等	計画収集区域内面積		5,774.39	km ²
	計画収集区域内人口		1,827,595	人
	計画収集人口		1,827,595	人
	自家処理人口		0	人
収集形態別内訳	収集ごみ	直 営	156,982	t / 年
		委 託	260,887	t / 年
		小 計	417,869	t / 年
	許可業者によるもの		153,190	t / 年
	計		571,059	t / 年
	直接搬入ごみ		56,798	t / 年
	災害廃棄物		0	t / 年
	合 計		627,857	t / 年
処理内訳	処理形態別内訳	直接焼却	421,237	t / 年
		粗大ごみ処理	20,954	t / 年
		堆肥化	1,391	t / 年
		飼料化	0	t / 年
		メタン化	0	t / 年
		燃料化	86,334	t / 年
		その他資源化等	42,240	t / 年
		そ の 他	517	t / 年
		直接資源化	35,755	t / 年
		直接埋立	19,429	t / 年
	小 計	627,857	t / 年	
	集団回収量		23,044	t / 年
	総排出量		650,901	t / 年
	自家処理量		329	t / 年
総排出量(参考)		628,186	t / 年	

※「総排出量(参考)」＝「収集ごみ量」＋「直接搬入ごみ量」＋「自家処理量」＋「災害廃棄物」

※ 災害廃棄物を含む。

(3) ごみ処理のフロー図



【三重県】

- 計画収集区域率 $B/A \times 100 = 100\%$
- 計画処理量 $① + ② + ③ = 627,857 \text{ t/年}$
- 計画収集区域率 $B/A \times 100 = 100\%$
- 計画処理量 $① + ② + ③ = 627,857 \text{ t/年}$
- 総排出量 $① + ② + ③ + ⑮ = 650,901 \text{ t/年}$
- 1人1日あたりのごみ排出量 $(① + ② + ③ + ⑮) \times 10^6 / (B \times 365) = 976 \text{ g/人} \cdot \text{日}$
- 資源化率 $⑯ / (① + ② + ③ + ⑮) \times 100 = 29.7\%$
- 再利用率 $(⑯ - (⑮ + ⑩ \text{からの資源化量} + ⑤ \text{からの資源化量})) / (① + ② + ③) \times 100 = 15.1\%$
- 減量処理率 $(① + ② + ③ - ⑬) / (① + ② + ③) \times 100 = 94.0\%$

【全国】※災害廃棄物を除く。

- 総排出量 4,432 万 t/年
- 1人1日あたりのごみ排出量 947 g/人・日
- 資源化率 20.6%
- 計画処理量 4,181 万 t/年
- 減量処理率 98.7%

(4) ごみ処理形態の推移

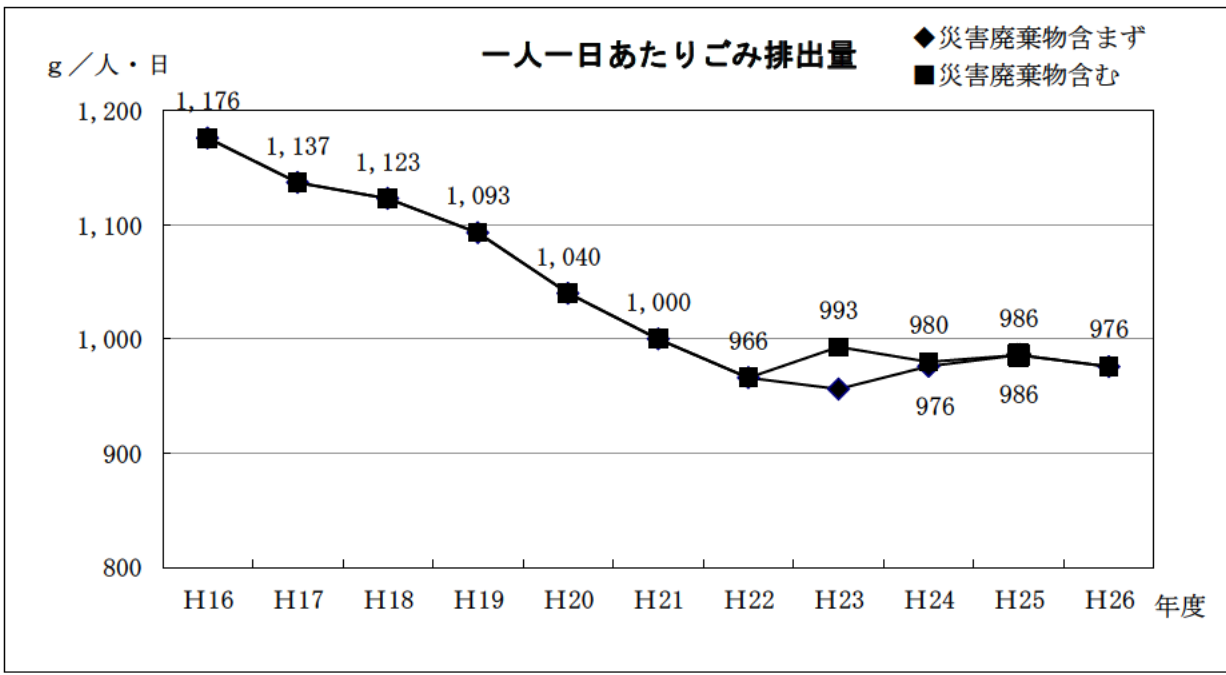
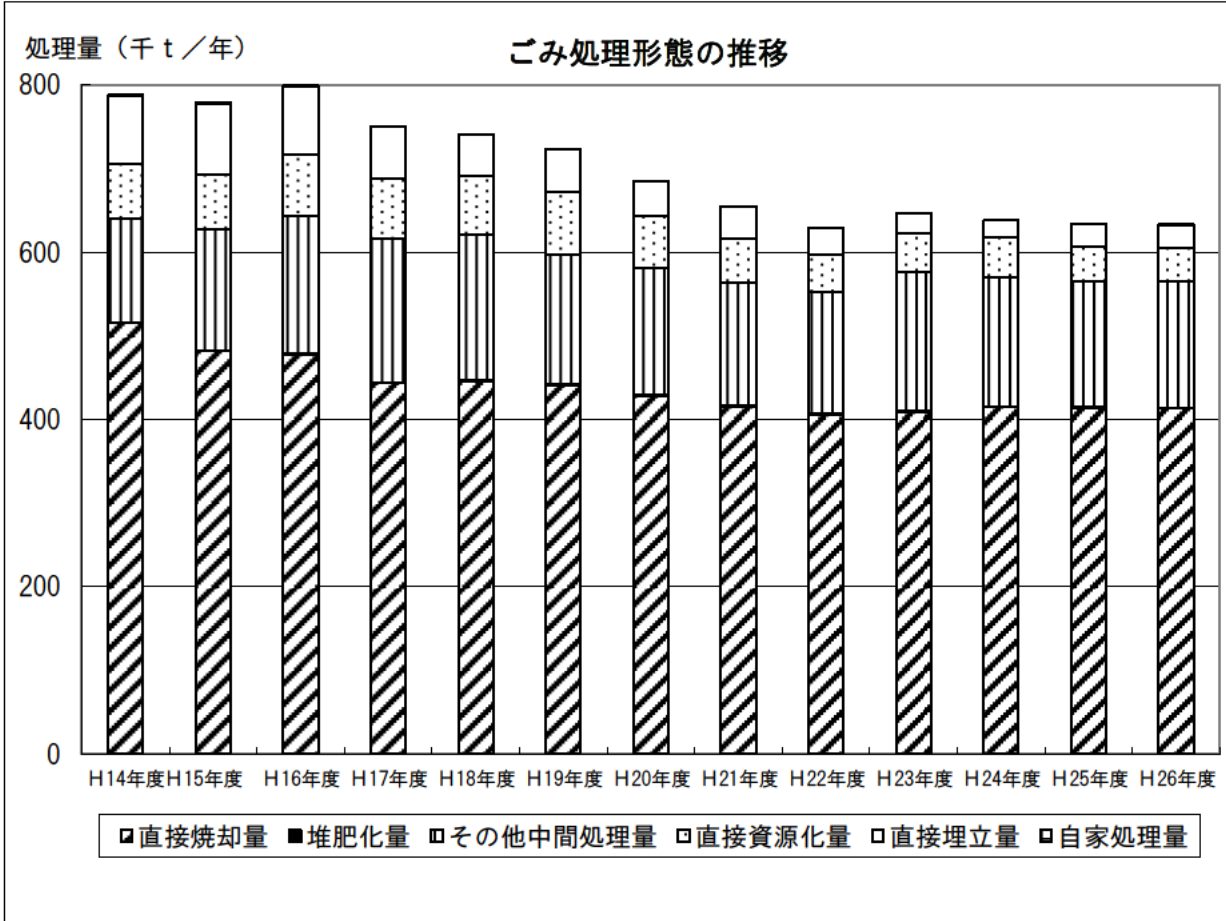
項目 / 年度	単位	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
総人口	人	1,827,595	1,833,056	1,851,625	1,848,107	1,854,742
計画処理区域内人口	人	1,827,595	1,833,056	1,851,625	1,848,107	1,854,742
計画収集量	t/年	571,059	568,588	572,015	570,442	567,271
直接搬入量	t/年	56,798	65,356	62,857	58,512	61,454
集団回収量	t/年	23,044	25,424	24,630	25,188	25,193
災害廃棄物	t/年	-	63	2,942	17,615	-
ごみ総排出量	t/年	650,901	659,431	662,444	671,757	653,918
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	976	986	980	993	966
自家処理量	t/年	329	376	406	384	462
ごみ総排出量(参考)	t/年	628,186	634,383	638,220	646,953	629,187
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	942	948	976	967	929
直接焼却量	t/年	421,237	412,954	414,512	408,136	404,918
直接資源化量	t/年	35,755	40,827	47,889	46,488	44,941
直接埋立量	t/年	19,429	27,242	20,076	24,332	32,244
堆肥化量	t/年	1,391	1,438	1,488	2,178	1,854
その他中間処理量	t/年	150,045	151,546	153,849	165,435	144,768
計	t/年	627,857	634,007	637,814	646,569	628,725
生活系ごみ	t/年	452,644	452,506	456,747	455,689	459,720
事業系ごみ	t/年	175,213	181,438	178,125	173,265	169,005
資源化率	%	29.7	30.4	30.5	31.1	30.6
再利用率	%	15.1	15.5	15.9	16.2	13.0
項目 / 年度	単位	平成 21 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 18 年度	平成 17 年度
総人口	人	1,862,575	1,869,669	1,869,307	1,867,696	1,866,963
計画処理区域内人口	人	1,862,575	1,869,669	1,869,307	1,867,696	1,866,963
計画収集量	t/年	587,130	616,782	640,774	670,136	660,483
直接搬入量	t/年	66,937	67,287	82,398	70,296	89,239
集団回収量	t/年	26,017	27,395	24,660	25,163	24,868
ごみ総排出量	t/年	680,084	711,464	747,832	765,595	774,590
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	1,000	1,040	1,093	1,123	1,137
自家処理量	t/年	780	984	759	931	900
ごみ総排出量(参考)	t/年	654,847	685,053	723,931	741,363	750,622
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	963	1,004	1,058	1,088	1,102
直接焼却量	t/年	415,541	427,307	440,515	445,049	443,262
直接資源化量	t/年	53,007	61,640	73,941	70,648	70,923
直接埋立量	t/年	36,943	41,095	51,301	48,744	61,713
堆肥化量	t/年	1,823	1,758	1,527	1,457	1,098
その他中間処理量	t/年	146,753	152,269	155,888	174,534	172,726
計	t/年	654,067	684,069	723,172	740,432	749,722
生活系ごみ	t/年	476,778	495,853	514,185	531,070	531,717
事業系ごみ	t/年	177,289	188,216	208,987	209,362	218,005
資源化率	%	30.1	31.0	31.2	31.8	30.8
再利用率	%	13.2	14.5	15.3	16.3	15.8

※ 「その他中間処理量」とは、中間処理施設(「焼却施設」、「ごみ堆肥化施設」を除く。)による処理量です。

※ 「生活系ごみ」には、「集団回収量」は含んでいません。

※ 平成 23 年度実績より、災害廃棄物が別集計となったため、項目を追加しています。

災害廃棄物は、生活系・事業系の区分はありません。

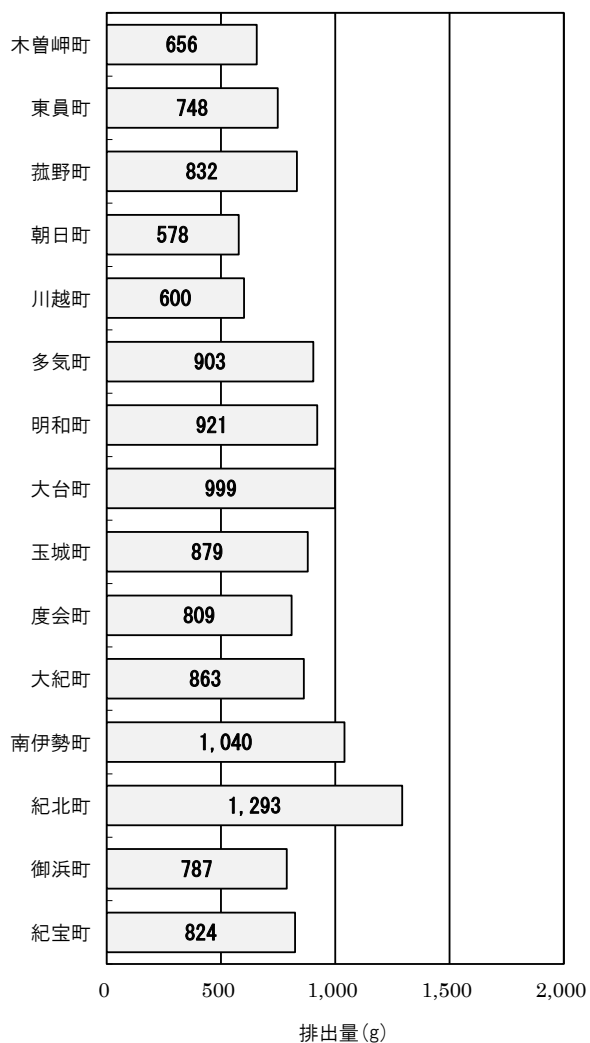
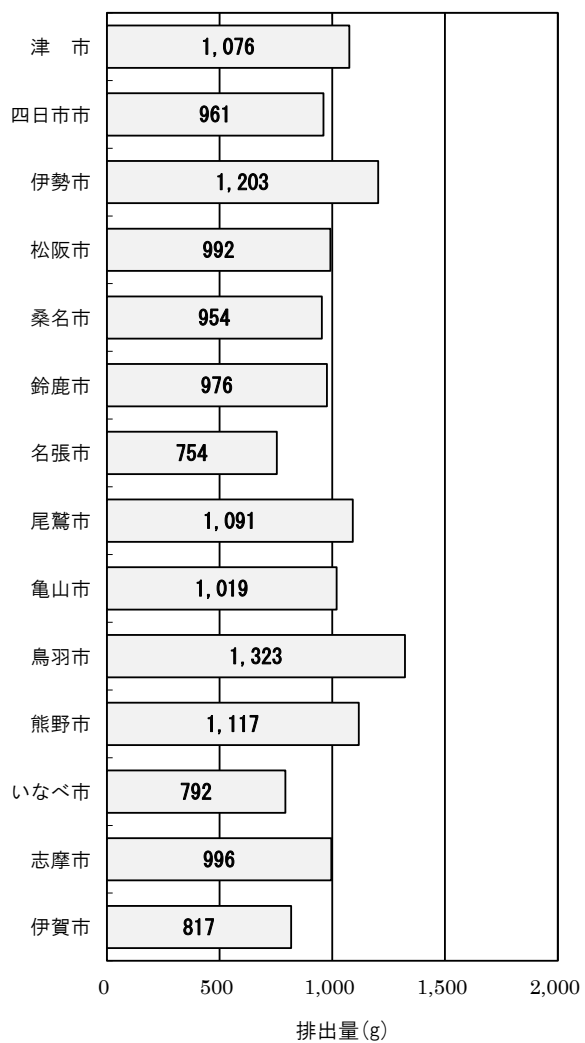


(5) 1人1日あたりのごみ排出量

市町名	平成26年度 実 績	平成25年度 実 績	平成24年度 実 績	平成23年度 実 績
津 市	1,076	1,067	998	997
四日市市	961	947	960	962
伊 勢 市	1,203	1,169	1,165	1,163
松 阪 市	992	1,004	1,016	998
桑 名 市	954	964	947	965
鈴 鹿 市	976	971	962	941
名 張 市	754	752	756	756
尾 鷲 市	1,091	1,054	1,291	1,217
亀 山 市	1,019	1,030	1,071	1,006
鳥 羽 市	1,323	1,765	1,574	1,562
熊 野 市	1,117	1,058	1,055	1,758
いなべ市	792	792	761	764
志 摩 市	996	1,164	1,163	1,119
伊 賀 市	817	819	778	754
木曾岬町	656	651	837	784
東 員 町	748	917	865	843
菰 野 町	832	841	847	856
朝 日 町	578	568	588	588
川 越 町	600	600	617	634
多 気 町	903	873	823	891
明 和 町	921	916	954	939
大 台 町	999	1,288	1,430	1,170
玉 城 町	879	920	890	859
度 会 町	809	798	807	817
大 紀 町	863	853	856	888
南伊勢町	1,040	1,114	990	956
紀 北 町	1,293	1,377	1,428	1,456
御 浜 町	787	797	838	883
紀 宝 町	824	861	1,583	3,779
県 平均	976	986	980	993

※ 災害廃棄物を含む。

【1人1日あたりのごみ排出量】



3 し尿処理

(1) し尿処理

し尿処理の計画処理区域は県内全域になっており、計画処理区域内人口は1,827,595人であり、そのうち水洗化人口は、1,698,196人(92.9%)、非水洗化人口は129,399人(7.1%)です。

水洗化人口の内訳は、公共下水道人口835,503人(49.2%)、浄化槽人口855,527人(50.4%)、コミュニティ・プラント人口7,166人(0.4%)です。また、非水洗化人口のうち計画収集人口は129,399人(100.0%)、自家処理人口は0人(0.0%)です。

平成25年度と比べると、水洗化人口では下水道人口が3,573人増加、コミュニティ・プラント人口が3,826人増加、浄化槽人口が3,869人減少しています。

なお、非水洗化人口のうち、計画収集人口は、8,985人減少しています。

し尿の計画収集量は、し尿が123,878kℓ/年(19.5%)、浄化槽汚泥が510,274kℓ/年(80.5%)で収集総量は634,152kℓ/年です。また、自家処理量は、0kℓ/年です。

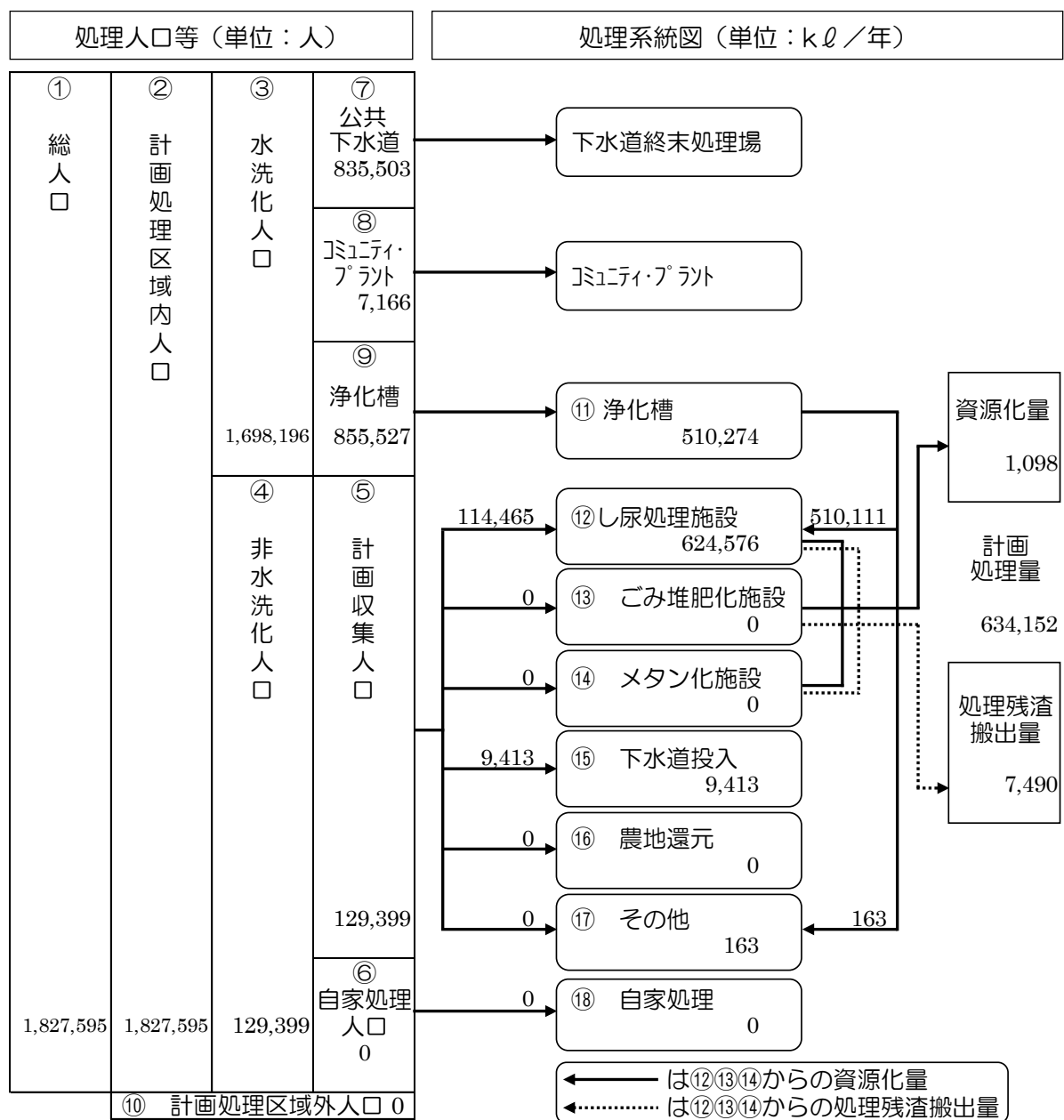
平成25年度と比べると、計画収集総量は4,832kℓ/年減少、自家処理量は3kℓ/年減少しています。

し尿処理全体の維持管理費等の経費は、4,680,950千円であり、1kℓあたりの処理に要する経費は7,381円となり、平成25年度と比較して354円/kℓ高くなりました。

(2) し尿処理の状況

項目		数値	単位		
計画 収集 人口 等	計画収集区域内面積		5,777.35	Km ²	
	計画収集区域内人口		1,827,595	人	
	水洗化 人口	公共下水道人口		835,503	人
		コミュニティ・プラント人口		7,166	人
		浄化槽人口		855,527	人
		内 訳	単独浄化槽人口	290,906	人
			合併浄化槽人口	564,621	人
		水洗化人口 計		1,698,196	人
	非水洗化 人口	計画収集人口		129,399	人
		自家処理人口		0	人
非水洗化人口 計		129,399	人		
収集 形態 別 内 訳	市町・組合によるもの	直 営	7,332	kℓ / 年	
		委 託	16,300	kℓ / 年	
		小 計	23,632	kℓ / 年	
	許可業者によるもの		610,520	kℓ / 年	
	計		634,152	kℓ / 年	
種 類 別 内 訳	し尿		123,878	kℓ / 年	
	浄化槽汚泥		510,274	kℓ / 年	
	計		634,152	kℓ / 年	
処 理 内 訳	処理形態別内訳	し尿処理施設	624,576	kℓ / 年	
		ごみ堆肥化施設	0	kℓ / 年	
		メタン化施設	0	kℓ / 年	
		下水道投入	9,413	kℓ / 年	
		農地還元	0	kℓ / 年	
		そ の 他	163	kℓ / 年	
		小 計	634,152	kℓ / 年	
	自 家 処 理 量		0	kℓ / 年	
	総 排 出 量		634,152	kℓ / 年	

(3) し尿処理のフロー図



- ・ 計画処理率 (②/①) = 100% (人口ベース)
- ・ 水洗化率 (③/①) = 92.9%
 - 公共下水道水洗化率 (⑦/①) = 45.7%
 - コミュニティ・プラント水洗化率 (⑧/①) = 0.4%
 - 浄化槽水洗化率 (⑨/①) = 46.8%
- ・ 非水洗化率 (④/①) = 7.1%
 - 総人口における計画収集率 (⑤/①) = 7.1%
 - 非水洗化人口における計画収集率 (⑤/④) = 100.0%
 - 総人口における自家処理率 (⑥/①) = 0.0%
 - 非水洗化人口における自家処理率 (⑥/④) = 0.0%

(4) し尿処理の内訳

処理内訳

施設数と処理能力

(収集し尿処理内訳比率)

し尿処理施設 624,576 kl/年 98.49%
下水道投入 9,413kl/年 1.48%
その他 163kl/年 0.03%

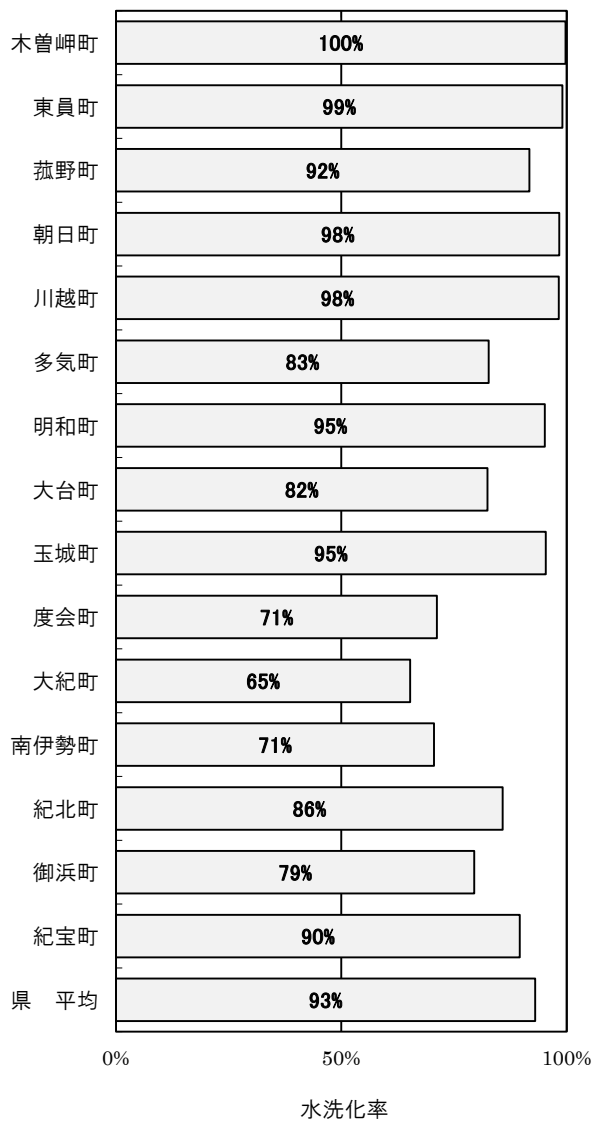
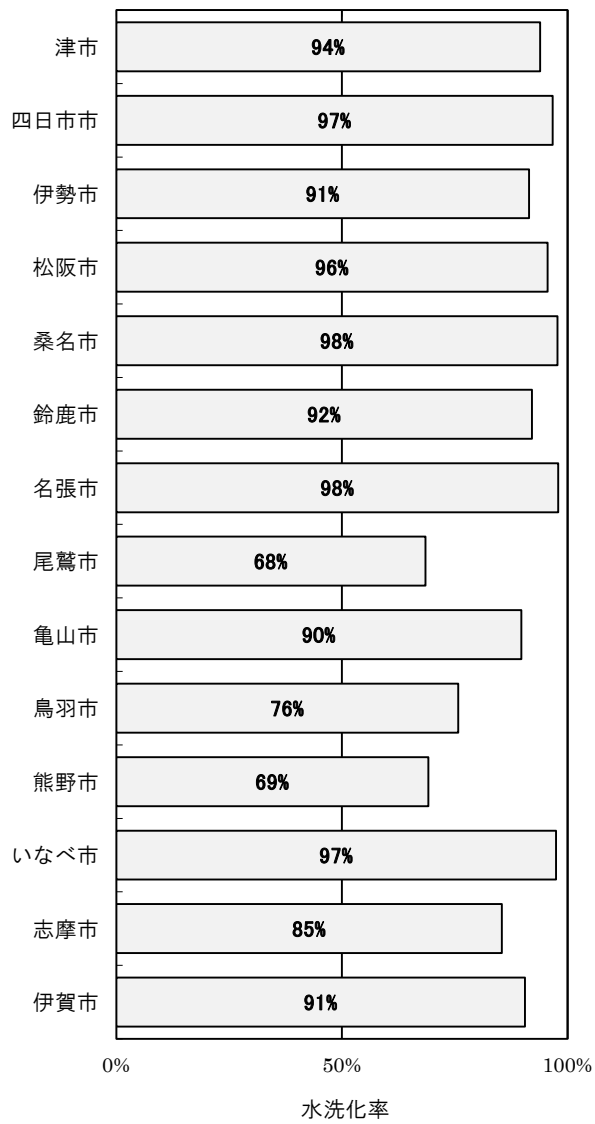
施設種別	施設数	公称能力 (kl / 日)
嫌気性処理方式	0	0
好気性処理方式	1	20
標準脱窒素方式	5	733
高負荷脱窒素方式	9	1,367
高負荷膜分離方式	8	775
下水投入方式	1	300
計	24	3,195

※ 平成 26 年度末現在において新設（建設中）、
休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は重複する施設を全て含む。

- ・ 計画処理量（含む浄化槽汚泥） $(12) + (13) + (14) + (15) + (16) + (17) = 634,152 \text{ kl} / \text{年} \dots\dots a$
- ・ 総処理量（計画処理量＋自家処理） $(12) + (13) + (14) + (15) + (16) + (17) + (18) = 634,152 \text{ kl} / \text{年} \dots b$
- ・ し尿処理施設及び下水道投入による処理率
 $(12) + (15) / a = 99.97\%$
- ・ 1人1日あたりのし尿計画処理量
 $((a - (11)) \times 10^3) / ((5) \times 365) = 2.62 \text{ l} / \text{人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿排出量
 $((b - (11)) \times 10^3) / ((4) \times 365) = 2.62 \text{ l} / \text{人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥計画処理量
 $((11) \times 10^3) / ((9) \times 365) = 1.63 \text{ l} / \text{人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥排出量
 $((11) \times 10^3) / ((9) \times 365) = 1.63 \text{ l} / \text{人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿及び浄化槽汚泥排出量
 $(b \times 10^3) / ((4) + (9)) \times 365 = 1.76 \text{ l} / \text{人} \cdot \text{日}$

(5) 水洗化率



(6) し尿処理形態の推移

項目/年度	単位	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
計画処理区域内人口	人	1,827,595	1,833,056	1,851,625	1,848,107	1,854,742
水洗化人口	人	1,698,196	1,694,666	1,677,922	1,654,116	1,629,078
公共下水道	人	835,503	831,930	819,415	791,624	763,533
コミュニティ・プラント	人	7,166	3,340	3,390	3,426	3,497
浄化槽	人	855,527	859,396	855,117	859,066	862,048
非水洗化人口	人	129,399	138,390	173,703	193,991	225,664
し尿処理施設	kl/年	624,576	629,269	639,235	632,239	645,189
下水道投入	kl/年	9,413	9,552	10,085	9,891	9,853
海洋投入	kl/年	-	-	-	-	-
その他	kl/年	163	163	137	70	53
計(a)	kl/年	634,152	638,984	649,457	642,200	655,095
自家処理量(b)	kl/年	0	3	3	6	18
計画処理区域内の総処理量(a)+(b)	kl/年	634,152	638,987	649,460	642,206	655,113
項目/年度	単位	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
計画処理区域内人口	人	1,862,575	1,869,669	1,869,307	1,867,696	1,866,963
水洗化人口	人	1,630,296	1,628,300	1,609,300	1,570,689	1,553,013
公共下水道	人	747,179	698,894	670,753	628,912	583,872
コミュニティ・プラント	人	3,562	3,590	3,566	4,403	4,522
浄化槽	人	879,555	925,816	934,981	937,374	964,619
非水洗化人口	人	232,279	241,369	260,007	297,007	313,950
し尿処理施設	kl/年	647,491	664,267	669,869	592,858	556,648
下水道投入	kl/年	11,597	13,048	12,198	14,317	15,079
海洋投入	kl/年	-	-	-	64,391	104,317
その他	kl/年	62	238	60	0	0
計(a)	kl/年	659,150	677,553	682,127	671,566	676,044
自家処理量(b)	kl/年	25	30	60	98	204
計画処理区域内の総処理量(a)+(b)	kl/年	659,175	677,583	682,187	671,664	676,248

